

第2回市民交流(歴史資料)館に関する意見交換会 次第

日時：平成30年11月16日(金)19時から

場所：鹿嶋市商工会館3階

日時：平成30年11月20日(火)19時から

場所：大野ふれあいセンター2階

1. 市長挨拶

2. 配布資料の説明

- ・資料1 第1回意見交換会 意見交換要旨
- ・資料2 第1回意見交換会 アンケート結果
- ・資料3 宮中地区賑わい創出事業の役割のスキーム

3. 方向性の提案

4. 意見交換

5. その他

第1回 市民交流(歴史資料)館に関する意見交換会 意見交換要旨

平成30年9月27日(木) 鹿嶋市商工会館
平成30年10月3日(水) 大野ふれあいセンター

凡例 ○: 発言要旨 ●: 市回答要旨

賛成意見

- 元の賑わいとは別の質の賑わいだと思う。五ヶ町で観光を主とした新たなまちづくりとして進めていくべきではないか?今、手を付けるのは賛成。
→●一度に広く手を付けるのではなく、交流館を核として広げていきたい。
- 鹿島神宮も人呼ぶ努力をしてきた。五ヶ町の力も試されている。行政も計画倒れにならないよう、進めていただきたい。
→●歩行者天国なども計画して賑わいづくりを進めていきたい。
- お風呂や健康施設は中心地になくてもいい。資料館は学習施設でありランニングコストを考えるのは、違うと思う。せつかくの施設なのだから充実した展示をしてほしい。
→●市財政の今後の見通しを考え、負担の少ない形で検討している。
- 資料館は賛成。オリンピックまでに全て完成するのか。
→●資料館は5年後とかで、インバウンドに対応できるオリンピック開催までにソフト事業でできるだけでも対応していきたい。
- 鹿島開発から時間がたち、今作らなければ忘れられてしまう。鹿行や県内の小中学生の学ぶ場として活用してはいかがか。
- 鹿嶋にある文化財があちこちで売られている事実もある。歴史館は文化財を所有者から寄託して保管する施設になる。
- 文化遺産を集める場所は必要であると思うが、商店も併せてやっていると活性化にはつながらない。基本的には賛成ですが、多くの方が理解できるように配慮した方がよい。
→●歴史館を建てるのが目的ではなく、宮中地区の賑わいの一助である。子どもたち学習にも活用していきたい。
- 大野ふれあいセンターは、いつ来てもいっぱい予約が取れない。食事をとるところもなく帰ることもある。歴史館を作ることがゴールではない。人が集まる場所を作ることが出発点となる。

観光

- 今回の計画は、中心地のみで発言しにくい。鹿島神宮駅周辺も他の賑わいづくりと併せて進めていただきたい。
→●駅前広場のリニューアル事業として、国県と協議を進めており、来年度予算化に向けて調整を進めている。リニューアル事業は、広場のバリアフリー化やキャノピーの屋根改修、南北広場の連絡通路を検討している。
- 昔の成田は、ほとんどの店が閉まっていた。今は多くの外国人で賑わっている。成田から30分の立地で官がバックアップすれば賑わいが生まれるのではないか。子どもたちが買い食いできるようなところもない。
→●まちづくり会社や金融機関のネットワークを使って、出店者を探すこともできるだろう。ハマグリを食べられるところもないので、出店をお願いしている。

反対意見

- 神栖は歴史的建造物がなくても発展している。商店街店主が意識を変えていかないと発展しない。展示物も年3回くらいで変えていかないと陳腐化する。ホールについては、公民館や勤文の空き情報をホームページなどで公開すれば十分対応できる。今の時代に箱モノを作るのはナンセンスである。
→●鹿嶋には、すでに多くの観光客がきている。その人たちに魅力あるものを提供できれば、お金が落ちる。どきどきセンターにも貴重なものがたくさんあり、順番に展示すれば、いつも同じという事はないと思う。

要検討

- 施設候補地の地権者合意が取れていないこと。別の候補地を検討すること。健康施設を望んでいること。
→●大町区を核として、中心市街地の活性化を図っていきたくて考えている。そこから徐々に周りに広げていきたい。
- 維持管理費に、建物の減価償却が含まれていないのでは?含むと2,500万円くらい増では?神宮参拝者200万人は多すぎではないか?入場料収入も見込みすぎでは?鹿嶋の歴史の集積はやらなければならない。
→●減価償却は含まれていない。今年の3月に特別イベントのない平日と休日に通行人調査を実施しました。平日で約2000人、休日で約5500人の歩行者がおりました。例えば年100万人が来ると仮定すると約50週で割ると1週間に2万人という計算になるわけですが、確かにそれだけ来ているのかなと感じるところはありますが、県なりの公表値を参考とさせていただいているところです。今後は他の調査結果も参考にしていく。
- いろいろな意見を聞くことが大事なら市も意見を伺う姿勢を取った方がよい。11月にもう一度意見交換をやって、結論を出すのは早い。もっと多くの意見を聞くべきだ。コミュニティーセンター単位でやって意見を聞くべきだ。
- 私は反対しているわけではなく、説明が不足しているから批判しているのです。宮中賑わい事業の全体でのコストの話もしていない。4割が補助、9割が起債、1割が持ち出しという説明ですが、起債は借金なので、聞いている市民が勘違いするような言い方は、やめたほうが良い。
→●29年度から宮中賑わいの計画に着手し、計画を示す段階に来ていない。起債は借金ですが、全額をポンとは出せないで、年次計画の中で返していく考えでいる。

その他

- 本日の資料と回覧板の資料が違うのではないか?
→●資料1は回覧と同じで、資料2,3は回覧までに用意できなかったため、今回用意したものです。
- 映画館を作ってほしい。
→●映画館は民間の力に期待している。
- 資料館を作る前に市民の生命財産を守るための工事があるのではないか。
→●道路や排水の問題があるのは分かっていますので、意見を伺っておきます。

第1回 市民交流(歴史資料)館に関する意見交換会 アンケート結果

アンケートの設問は以下のとおり

①あなたは、鹿嶋市が鹿嶋神宮を中心に門前町として栄えてきたことや、その後に鹿嶋開発により発展してきたことを知っていますか？

1 あまり知らない
2 聞いたことがある程度
3 神宮中心に栄えた経緯は知っている
4 鹿嶋開発の経緯は知っている
5 良く知っている

②国は観光産業に力を入れていますが、鹿嶋市の歴史観光を充実することについてどう思いますか？

1 充実する必要なし
2 充実の必要は少ない
3 わからない
4 ある程度は充実すべき
5 充実させるべき

③鹿嶋の歴史を知り、後世に残し伝えるべきだと思いますか？

1 そうは思わない
2 どちらかというと思わない
3 わからない
4 ある程度思う
5 そう思う

④平成28年の意識調査では、市の魅力として誇れるもの大切にしたいものとして、67%の市民が「鹿嶋神宮等の歴史環境」と答えていました。あなたは、現在の鹿嶋神宮周辺区域の状況をどう思いますか？

1 今のままで良い
2 今のままでしかたない
3 わからない
4 できれば活性化したほうが良い
5 ぜひ活性化すべき

⑤交流館や歴史文化施設ができれば鹿嶋神宮周辺の活性化に役立つと思いますか？

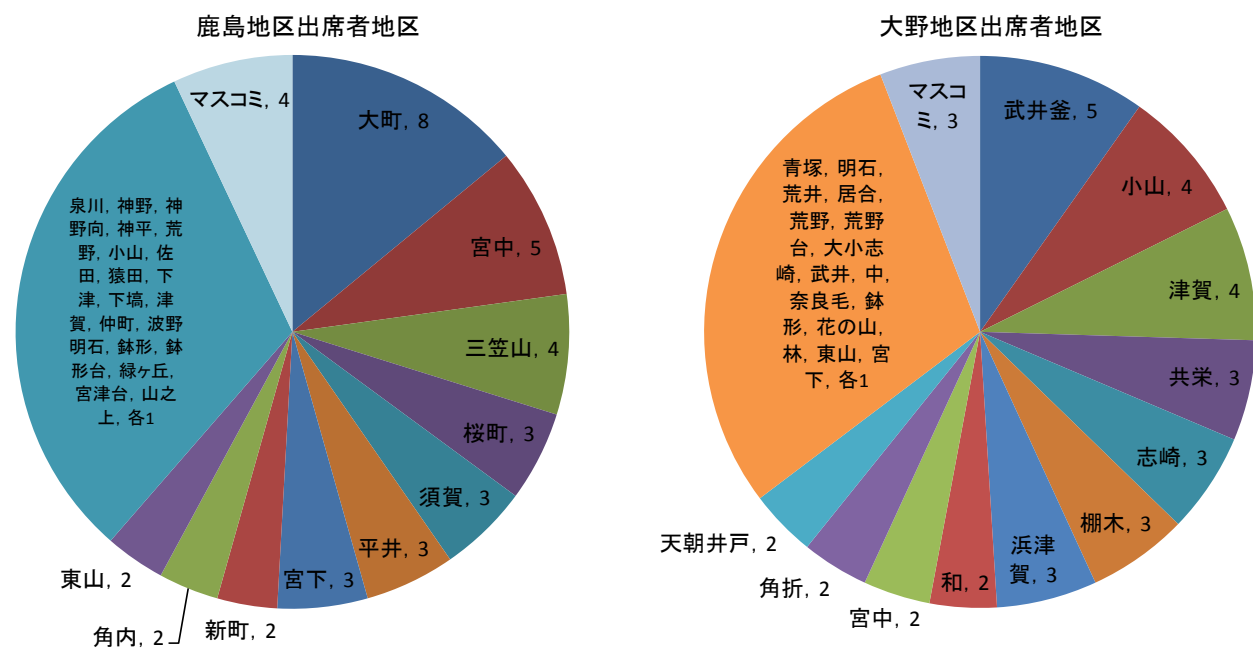
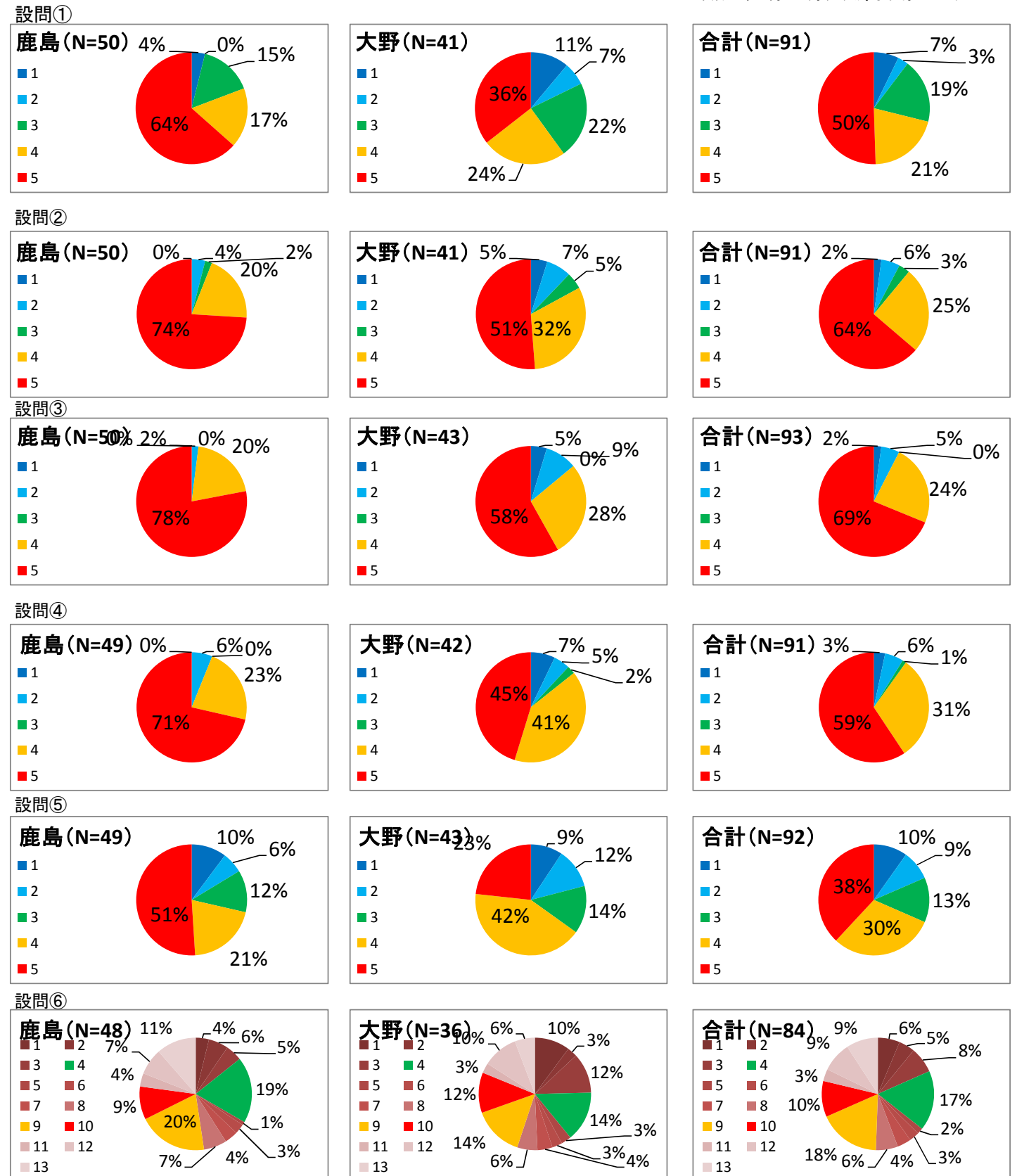
1 役立たない
2 あまり役立たない
3 わからない
4 ある程度役立つ
5 役立つ

⑥鹿嶋神宮周辺を活性化するには、何が必要と思いますか？【2つまで回答】

1 飲食店を増やす
2 土産物店を増やす
3 食べ歩きフードの販売
4 地場特産品の販売
5 タレントショップの誘致
6 体験型店舗を設ける
7 定期的なイベント開催施設(広場)
8 子供や高齢者が集う施設
9 歴史文化関連施設
10 観光交流関連施設
11 神宮宝物館を境内地の外に誘致
12 街並み景観を整える
13 その他(内容記載)

自由意見記載欄

自由意見記載欄の記載内容は裏面のとおり



設問⑥において、13その他と回答した意見は、以下のとおり

- 武道館
- 住民の自発的活性化意欲協力
- 東京鹿嶋直行バスの増便
- 住んでもらうこと
- 駅前に道の駅のようなものを作る
- 温泉施設等, 映画館等
- 医療施設の併設, 映画館含
- 地区に住む人々のやる気, おもてなし工夫
- 第一駐車場を閉鎖する
- 全体のまちづくりビジョン
- 必要なことが多く絞りきれない
- 図書館, 多目的会議室, 子供を遊ばせるスペース, スケートボードやミニコンサートができる施設等, 若者を呼ぶ施設
- 駐車場, 神宮から5~10分程度(大規模)その間を土産物店等とする
- 現在の神宮前駐車を移し大町参道を歩行者専用にする
- ホテル・旅館の誘致
- 駐車場を商店街の外へ

◆市民交流(歴史資料)館に関するアンケート 自由意見記載欄の内容(全53件の要約)

賛成意見(15件)

大方の人が賛成と感じた。しっかりと計画して進めて欲しい。

市民交流と観光交流関連施設は必要だと思っていますのでぜひお願いしたいです。

「文化は金では買えない」市長の言うとおりで。是非歴史館建設願っています。

観光に特化して事業を進めるべき。博物館、資料館は鹿嶋の未来のための投資だと思うので、ぜひ実現を！

説明会をやって終わりでは困る。有言実行して欲しい。

1階に、特産品の販売、飲食店、土産物店、歴史文化設備、神宮宝物館を配置し、周囲に広い駐車場を設ける。2階以上に子供、高齢者、観光協会、商工会等が入れば良い。

鹿島コンビナートのジオラマを是非とも資料館に作ってほしい。

発想倒れにならないことを願います。将来の市民の負債にならないことを祈ります。

どうも白紙が、やらないと理解されているので市民交流館として再構築案をていねいな説明をやって、実施されたい。

全国に3ヶ所しかなかった神宮がある市に歴史博物館がないことが子供の頃から不思議で仕方なかった。

今日はじめて市長の話を聞きました。市長の熱意を充分に感じました。ぜひ力を入れて一つづつでも実現して下さい。

鹿島のまちは神宮を中心にして発展してきた。市民交流の場合は、緊急、極めて大切な施設であると思う。

鹿島神宮の歴史を再度世に出すべき。今がその境目にある。生まれ育った地域に誇りを持たせるべき。→これを変えるチャンスに。

“ぜひ作るべき”

頑張ってください！

反対意見(7件)

複合施設の必要はない。歴史館には展示物だけでなく8K映像などを活用すべき。

資料館や博物館は時代にそぐわない。時代にそぐわなければ破滅です。そんな鹿嶋にしたいです。どうかご再考お願い致します。

建物はいらない。

箱物ではなく、知恵を出しあい行う事を考える必要が大切。借金は不要。

宮中地区の集会所は必要と思うが、歴史館と連動して考えるには無理がある。まちづくりセンター、勤文センターの活用をもう少し充実させるべき。市税でランニングコスト増を補填か。

交流館や歴史文化施設を作っても活性化するとは思えない。投資するだけムダである(ランニングコストも毎年赤字と予想する)

市長は市全体の活性化を考えるべきで、神宮周辺は文教地区と位置付けてはどうか。箱物は時代錯誤。神栖を参考にしては？

観光(9件)

宮中地区の活性化は、観光にたよるしかない。現在の商店街の空き店舗の状況を見ると、今がチャンスかもと思う。

観光客を誘致せず、小さな店をたくさん作る。道路は石畳風にし、自動車が通りやすい道はつからない。

観光客を増やすことが第一。鹿島でしかできない体験の創出。子供が集まる広場をつくれば自然とにぎわうのでは？

宮中にぎわいは土産店が多くあり、歩行者が楽しくすごし何度も訪れることが必要です。

道の駅や漁港の市場など観光客がお金を落とす施設が欲しい。

神宮周辺は、車の流れが悪いと感じる。あわせて外部からの訪問者も含めた駐車場が整備されると良いと思われます。

車のパーキングスペースを増やし料金を安くする。トイレの場所を増やす。

漁港に買物や食事をする所がない。観光バスが乗り入れする施設がほしい。海産資源を利用出来ていない。新しい物を作り出さなければ何の変化も発展もないと思う。

郷土料理、地場産品の食べられる店の増

その他(13件)

鹿島開発はやはり鹿島の顔になると思う。住金のPRも今後は必要な場所になる。

反対の意見者にきびしすぎる。自由な発言ができない。

鹿嶋市の歴史の偉大に気が付いている人が少ない。

若い人のアイデアをたくさん活用した方がよいと思います。

建物の案は良い、として、あの地区の土地の話は決着している？他から来た方々のアイデアを取り入れる。良い物は堂々マネして良いのでは？

大野ふれあいセンターホールと同程度の施設は魅力ですが、駐車場は確保できるのでしょうか。博物館は必要ですので、神宮周辺の活性化とは別に考えた方が良いでしょう。

神宮周辺の店の人たちのヤルキの問題だと思えます。

寄付を募集する市民運動も必要だと思う。

重要な場所決定は住民の合意形成に注力すべき。行政への不信感がある、住民と意見を積み上げる必要がある。市民交流館は重要拠点であり、入館料以外の収入源も考えるべき、将来を見越した複合施設としてもらいたい。

PR不足

賑わいの創出について、キッズランドではなく、鹿島公民館の移転の検討も！子どものためになる公共施設、歴史資産の有効活用を期待します。

県内外に宣伝(PR)。アンテナショップの設置。

佐原中心地の伊能忠敬博物館のように街中でも人々が学ぶ、施設のイメージ。佐原は水路、伝統的館物群のすばらしい景観が残っている。

要検討(9件)

歴史館と図書館との併設を希望します。5町内の住民が熱をもつこと

複数案を立案し、市民とともに事業を進めていくことが大事だと思う。

交流館の中にTSUTAYAを導入して、図書館機能も備えた施設。

デザインとプログラムが施設建設にあたっては大切だと思いました。

内容の重要性とランニングコストとの問題はつきないです。

どうせ箱物を建てるなら、見ためだけでもSNSやマスコミに取り上げられそうな、鹿嶋にしかないものにしてもらいたい。(インスタ映え！)

商工会館の有効活用。土日に開店。産物を販売。駅前案内所のイメージチェンジ。もっとウェルカムな感じを。

歴史資料館と市民交流施設は別けて検討すべき。

詳しい説明がほしいと市民は思う。

宮中地区賑わい創出事業の役割のスキーム（枠組み）

中心市街地活性化基本計画により官民が連携して活性化に取り組む

推進事業の内容	複合施設に設置しようとする事業	取組の主体			事業効果
		鹿嶋市	まちづくり会社	民間事業者等	
都市機能の増進	市民交流センターの整備	※（社会教育施設）	○		地域コミュニティ 利便性向上
	子育てサポート施設の整備	※（社会福祉施設）	○		
	歴史資料館の整備	※（社会教育施設）	○		
	駅前広場リニューアル		○		利便性向上
	再開発（道路・歩道整備）		○	○	利便性向上
	高速バス停留所整備		○		
	共同駐車場整備		○	○	利便性向上 経済活性化
	公衆トイレ整備		○		観光促進 地域コミュニティ
	ポケットパーク整備		○		
	障がい者店舗等設置事業			○	地域コミュニティ
	門前町道路改良（修景整備）		○		利便性向上 観光促進
	地区計画景観整備推進		支援	○	景観形成 観光促進
経済活力の向上	鹿島神宮宝物館の整備	※（観光促進施設）		○	観光促進
	歴史資料館の整備（再掲）	※（観光促進施設）	○		
	観光情報発信ブース整備	※（観光促進施設）	○	○	
	観光サイン整備事業		○		経済活性化
	特産品紹介・販売ブース整備	※（消費促進施設）	○	○	
	空店舗リノベーション事業			○	
	チャレンジショップ支援		支援	○	
	まちなか起業支援		支援	○	
	共同店舗整備推進			○	
	空店舗等マッチング			○	
	特産品販売促進			○	
	にぎわい広場利用促進			○	
	道路空間活用賑わいづくり			○	
	定例的イベント開催			○	経済活性化 地域コミュニティ
まちづくり会議等の開催			○		